



平成25年 4月 26日  
 星野

長岡市長 森 民夫 様

〒 9 4 7 - 0 2 0 4

申請者 住 所 長岡市山古志竹沢甲2835

団 体 名 山古志住民会議

代 表 者 (代表) 星野 勇



平成25年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金交付申請書

平成25年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

事業名	お見合いプロジェクト ～地域の想いを次世代につなぐ、山古志らしい交流の場をつくろう!～																																										
事業概要	<p>【目的】</p> <p>震災前、若者を中心とした実行委員会主催による「スキーNOW」というお見合いイベントがあり、数多くの結婚実績が作られている。このように企画段階から若者が集うことで、議論や交流が生まれるきっかけとなり、地域を想うところを次世代へとつなぎたい。さらに、地域活性化の基盤となるのが「結婚」であり、若者の集う場づくりを行いながら、持続的な地域活動へとつなげてきたい。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の若者による企画検討会の開催</li> <li>・お見合いイベントの広報・募集</li> <li>・お見合いイベントおよび、事前オリエンテーションの企画・実施</li> </ul>																																										
補助申請額	<table border="1"> <tr> <td>下記 (F)の額を記入</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>			下記 (F)の額を記入	3	5	0	0	0	0	円																																
下記 (F)の額を記入	3	5	0	0	0	0	円																																				
補助申請額算出の基礎	<table border="1"> <tr> <td>支出の部合計(A)</td> <td>補助対象外経費(B)</td> <td>=</td> <td>補助対象経費(C)</td> </tr> <tr> <td>638,000円</td> <td>200,000円</td> <td></td> <td>438,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの</td> <td>=</td> <td>特定財源(D)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>(C)-(D)=補助金算出対象額</td> <td>(補助率)</td> <td>=</td> <td>補助金額 (E)</td> </tr> <tr> <td>438,000円</td> <td>80%</td> <td></td> <td>350,400円</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">※金額の上限は50万円です</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">350,000円</td> </tr> </table>			支出の部合計(A)	補助対象外経費(B)	=	補助対象経費(C)	638,000円	200,000円		438,000円	事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの		=	特定財源(D)				0円	(C)-(D)=補助金算出対象額	(補助率)	=	補助金額 (E)	438,000円	80%		350,400円	↓				補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)				※金額の上限は50万円です				350,000円			
支出の部合計(A)	補助対象外経費(B)	=	補助対象経費(C)																																								
638,000円	200,000円		438,000円																																								
事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの		=	特定財源(D)																																								
			0円																																								
(C)-(D)=補助金算出対象額	(補助率)	=	補助金額 (E)																																								
438,000円	80%		350,400円																																								
↓																																											
補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)																																											
※金額の上限は50万円です																																											
350,000円																																											
事業期間 (予定)	着手	平成25年 6月 1日	完了 平成26年3月31日																																								
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 団体の概要説明書 (第2号様式)</li> <li>○ 事業計画書 (第3号様式)</li> <li>○ 事業の収支予算書 (第4号様式)</li> </ul>																																										



## 平成25年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体の概要

## 1. 申請団体の概要および申請事業の計画等【公開対象】

ふりがな	やまこしじゅうみんかいぎ		
団体名	山古志住民会議		
代表者氏名	(肩書: 代表) 星野 勇		
設立年月日	昭和 (平成) 19年 8月 10日	構成員数	16人
設立目的	中越大震災からの山古志地域の復興推進や地域振興を進めるにあたり、地域住民や支援団体や大学、行政などが連携して、地域全体の現状やなりたい姿(将来像)、「復興・感謝」などについて議論し、地域住民や来訪者に本当に必要なものを目に見えるソフト・ハード事業として展開していくことで、地域全体の活性化を目指すことを目的とする。		
これまでの活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会、運営会議および、各専門部会(直売所、若手鯉師など)の開催</li> <li>・全国へのお礼状発送および、「やまこしありがとうまつり」「やまこし帰村式」「感謝の集い」など、感謝の気持ちを発信する事業の企画・実施</li> <li>・「よつトイレプロジェクト」の開始</li> <li>・10.23 メモリアル事業の企画・運営(つなごう山古志の心展、復興の灯りなど)</li> <li>・「やまこし夢プラン」基本構想・行動計画の策定</li> <li>・地域情報をまとめた活動報告誌・パンフレットの作成および、発送</li> <li>・被災地支援活動(中越沖地震、中国四川省大地震、東日本大震災など)</li> </ul> ※その他、集落や住民団体の活動支援を随時検討・実施		
過去の補助実績 (該当する場合のみ)	年度	補助を受けた制度の名称	補助金額(円)
	22	被災者生活支援対策事業(復興支援ネットワーク)補助金	4,314,000
添付資料	事業計画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり	
	収支予算等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり	
	その他、団体をPRするパンフレット等	有 ・ 無 (どちらかに○印)	

## 2. 申請団体の連絡先等【公開、非公開を選択※】

事務所所在地	長岡市山古志竹沢甲2835	【公開】・非公開	
電話・FAX番号等	電話 59-2301 FAX 59-2302	【公開】・非公開	
	Eメールアドレス yamakoshi1023@gmail.com		
担当者連絡先	氏名	井上 洋	【公開】・非公開
	住所	長岡市山古志竹沢甲2835	
	電話・FAX番号等	電話 59-2301 FAX 59-2302	
		Eメールアドレス yamakoshi1023@gmail.com	
添付資料	名簿またはこれに類するもの	・別添のとおり	【公開】・非公開
	規約またはこれに類するもの	・別添のとおり	【公開】・非公開

※ 個人情報保護の観点から、広く公開してもよいものなら“公開”に、そうでないものは“非公開”に○を付けてください。

※ 2の添付資料(名簿類・規約類)については、交付審査の際の資料として審査関係者に提示する場合があります。

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>山古志お見合いプロジェクト 「やまこい」 ～地域の想いを次世代につなぐ、山古志らしい交流の場をつくろう！～</p>
<p>事業実施の目的</p> <p>（目的 現状 課題 必要性）</p>	<p>震災前、若者を中心とした実行委員会主催による「スキーNOW」というお見合いイベントがあり、数多くの結婚実績が作られている。このように企画段階から若者が集うことで、議論や交流が生まれるきっかけとなり、地域を想うところを次世代へつなぎたい。さらに、地域活性化の基盤となるのが「結婚」であり、若者の集う場づくりを行いながら、持続的な地域活動へとつなげてきたい。</p> <p>また、昨年度事業の経験から、昨今の婚活のスタイルには、実績のある企画会社からの情報発信（募集）に対して、女性は安心して参加できること。また、消極的な男性に対する事前オリエンテーションの必要性や、様々なツールを活用した参加者同士のコミュニケーションサポート、専門の進行役による参加女性に対する細やかなフォロー等が必要であることがわかった。</p> <p>特に「女性が安心して参加できるスタイル」、「男性が積極的に出会いに向き合う環境づくり」をねらって、ノウハウのある企画コンサルティング企業との連携を図りたい。</p>
<p>事業内容</p> <p>（実施月日 実施場所 参加者数 実施内容等）</p>	<p>【地域の若者を中心とした企画検討会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の若者が集まり、お見合いイベントの企画や進行、募集方法などについて議論する。</li> <li>・より現実的で効果の高い企画にするため、お見合い・婚活イベントのコンサルタント業務を行っている企業からアドバイザーを招き、専門的なアドバイスをもらう。</li> </ul> <p>【お見合いイベントの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間を十分に（2 ヶ月程度）設けたうえで、夏季休暇期間を利用した 8～9 月頃の開催を目指す。</li> <li>・参加者の出会いを主たる目的としつつ、イベントの中で棚田の景観や、錦鯉、闘牛などの豊かな伝統文化、ライフスタイルなど、ありのままの山古志に参加者が魅力を感じてもらえる交流を企画する。山で暮らす人の姿に惚れ、地域を好きになってもらうことで、参加者が山古志のリピーターになってくれることをねらう。</li> <li>・山古志に対して関心の高い、新潟市からの女性参加を拡大するため、新潟駅～長岡駅発着の貸し切りバスを運行する。</li> <li>・幅広く事業の周知を行い、参加者が安心して応募できる募集を実施するため、市政だよりや実績のある企業を活用した広報を行う。</li> <li>・参加者同士の積極的なコミュニケーションをねらうために、事前オリエンテーションを開催する。</li> <li>・昨年度事業の参加女性のアンケートでは、男性や地域の魅力をよく知るために1泊2日の行程が好評だった。一方で、男性からは宿泊費用の負担軽減に対する意見もあり、宿泊では参加が難しい参加者を取り込むために、企画検討会にて協議する。</li> <li>・参加者から徴収する参加費は、全て飲食や宿泊等の補助対象外経費にあてられる。</li> </ul>

<p>本 年 度 の 事 業 ス ケ ジ ュ ー ル</p>	<p>6月 若手部会の開催、専門家によるアドバイス(随時開催)</p> <p>6月中 広報・募集の開始</p> <p>8～9月 事前オリエンテーションの開催(イベント実施の2週間前程度)</p> <p>「やまこい」の実施</p> <p>※本事業後も、お見合い・出会いイベントなど、若者向けの交流事業を企画実施していくため、企画検討会を継続的に開催する。</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のために何かしたいという若者が、地域活動に参加するきっかけが生まれる。</li> <li>・地域の若者が集まる場を継続的にもつことで、地域に対する想いが次世代へとつながる。</li> <li>・出会いのきっかけづくりによって、「結婚」という一番の成果を期待できる！</li> <li>・婚活イベントは参加者以外にも、地域全体が盛り上がる。</li> <li>・地域外の参加者から山古志に魅力を感じてもらい、地域との交流や、若者同士の交流への発展が期待できる。</li> </ul>

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域コミュニティ事業補助金(F)		350,000	
自己資金	自主財源	88,000	
特定財源	寄附金	0	
	参加費	0	
	その他収入金	0	
	小 計(D)	0	
その他	参加費	200,000	※すべて補助対象外経費に充てる
合 計		638,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助対象経費	使用料	70,000	観光バスレンタル料(新潟駅⇒長岡駅⇒山古志往復)
	需用費	50,000	・チラシ、パンフレット印刷代 ・消耗品費
	役務費	50,000	・情報発信に係る広告料 ・イベント保険料 ・郵便料
	委託料	250,000	アドバイザー契約料
	原材料費	18,000	会場設営資材費
	小 計(C)	438,000	
補助対象外経費	飲食代	40,000	
	宿泊代	160,000	
	小 計(B)	200,000	
合 計(A)		638,000	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。

## 山古志住民会議名簿

### ○メンバー

No.	区分	氏名	役職等（集落名）	備考
1	団体	星野 勇	竹沢よりみち倶楽部 (竹 沢)	【代表】
2	"	樺沢 和幸	山古志地域委員長 (種芋原)	※地域委員
3	"	樺沢 恵子	グループかたくり (種芋原)	
4	"	田中 仁	山古志商工会長、(株)山古志観光開発公社社長 (虫 亀)	※地域委員
5	"	田中 康雄	山古志商工会青年部長 (虫 亀)	※地域委員
6	"	星野 京子	あねさの会 (竹 沢)	
7	"	斎藤 隆	(社)中越防災安全推進機構 地域アドバイザー (竹 沢)	【監事】
8	"	斎藤 末松	NPO法人 よした一山古志 (池 谷)	
9	地域	齋藤 勝	学校評議員、山古志地域農業委員 (虫 亀)	
10	"	関 信一	梶金復興委員 (梶 金)	
11	"	五十嵐 豊	梶金復興委員 (梶 金)	
12	"	小川 美英子	東竹沢公民館 (小松倉)	
13	大学	上村 靖司	長岡技術科学大学 准教授	
14	"	澤田 雅浩	長岡造形大学 准教授	
15	"	福留 邦洋	東北工業大学 准教授	
16	事務局	井上 洋	長岡市地域復興支援センター山古志サテライト 主任復興支援員	【会計】
17				
18				
19				
20				

### ○顧問

No.	区分	氏名	役職等（集落名）	備考
1	有識者	長島 忠美	衆議院議員 (虫 亀)	
2	"	関 正史	長岡市議会議員、山古志観光協会会長 (梶 金)	
3	種芋原地区	樺澤 三治郎	種芋原地区協議会長 (種芋原)	
4	虫亀地区	若槻 敬	虫亀地区協議会長 (虫 亀)	
5	竹沢地区	星野 吟二	竹沢地区協議会長 (竹 沢)	※地域委員
6	東竹沢地区	小川 喜太郎	東竹沢地区協議会長 (梶 金)	
7	三ヶ地区	畔上 由彦	三ヶ地区協議会長 (榎 木)	

### ○オブザーバー

(社)中越防災安全推進機構 長岡市山古志支所 【監事】

### ○事務局

地域復興支援センター山古志サテライト

※色帯をコアメンバーとする。

# 山古志住民会議 会 則

## (目 的)

第1条 この団体は、中越大震災からの山古志地域の復興推進・地域振興を進めるにあたり、地域住民や支援団体や大学、行政などが連携して、地域全体の現状やなりたい姿(将来像)、「感謝・復興」などについて議論し、地域住民や地域への来訪者に目に見えるソフト・ハード事業を展開していくことで、地域全体の活性化を目指すことを目的とする。

## (名 称)

第2条 この団体は、「山古志住民会議」と称する。

## (事務所)

第3条 この団体の事務所は、新潟県長岡市山古志地域に置く。

## (事 業)

第4条 この団体は、第1条の目的を達成するために、次のことを行う。

- (1) 山古志地域全体を考えた「将来構想」及び「行動計画」を作成する。
- (2) 復興イベントを企画・実施する。
- (3) 集落や住民、復興支援団体などが行う復興活動を支援する。
- (4) 地域全体の活性化につながるハード整備の検討を行う。
- (5) その他、目的達成のために必要な事業を随時行う。

## (組 織)

第5条 この団体のメンバーは、山古志地域の復興及び地域振興に関わる個人及び団体とする。

2 この団体は、委員及び運営委員、顧問から構成する。なお、構成員のうち、代表1名と会計監事2名を選任する。

## (会議の招集)

第6条 この団体の会議は、必要に応じ代表が召集する。

## (事業年度)

第7条 この団体の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わる。

附則 この会則は、平成19年8月10日から適用する。